

# 史跡玉川上水と名勝小金井桜

## 歴史的価値と復活の意義



今年の名勝小金井桜の開花は、4月2日から5日ぐらいまで真冬に舞い戻りという雨と低温の日が続き、せっかく開花したソメイヨシノも満開が足踏み状態の日が続きました。そのおかげか早咲き中咲きの名勝小金井桜が満開となり、遅咲きが8分咲きの状態で、しかも2022年4月8日は快晴のお天気で、絶好の講演会と観桜日和となりました。

280余年の歴史を持つ名勝小金井桜の復活事業に対し、玉川上水に自然に繁茂したケヤキ等の雑木伐採に異を唱え、名勝小金井桜と他の雑木との共存を主張する市民団体が少なからず存在し、「桜復活プロジェクト」が小金井市以外の小平・武蔵野・西東京地域で足踏み状態が続いている中、元東京都文化財保護審議会副会長等を歴任され、公益社団法人日本自然保護協会理事長で東京農工大学名誉教授・当会の顧問になって頂いている「桜復活プロジェクト」の中心的存在の亀山章先生をお迎えし、「史跡玉川上水と名勝小金井桜の歴史的価値」についての講演会を市内外在住の28名の受講者を迎えて小金井市文化財センターで午後1時から3時に開催しました。

### お釈迦様の日講演会

## 史跡玉川上水・名勝小金井桜

### —歴史的価値と明日への継承—

江戸・東京の命の水を300年以上も供給し、現在も現役で活躍する**史跡玉川上水**  
関東随一の桜の名所として楽しませてきた玉川上水堤の280余年の歴史を誇る**名勝小金井桜**  
玉川上水と小金井桜の歴史をたどりながら、次の世代に適切に継承するため  
文化財としての史跡と名勝の価値についてご一緒に考えたいと思います。

日時：2022年4月8日(金)午後1時～午後3時

場所：小金井市文化財センター(小金井市緑町3-2-37)

講師：亀山章氏(公益財団法人日本自然保護協会理事長)

参加費：無料

申込み：4月5日までにメール([hiroказu.konuma@gmail.com](mailto:hiroказu.konuma@gmail.com))

**会場の都合より先着30名**

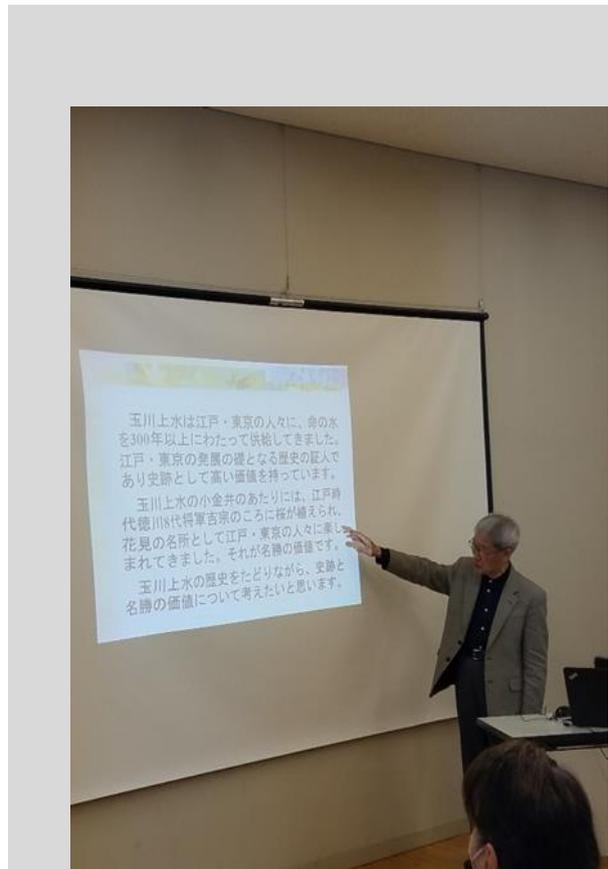
観桜会：講演終了後、小金井桜のお花見を講師の案内で行います  
午後3時から4時(平右衛門橋～関野橋・真蔵院)

懇親会：希望者により小金井公園で懇親会(参加費を500円)



主催：名勝小金井桜の会 連絡先:090-6507-4310 小沼

受講者募集のポスター



講義をされる亀山章先生



会場いっぱいの受講者の皆様



当会会員以外の一般・市外からの受講者の皆様

講座終了後は、2011年から玉川上水堤のフェンス内に植栽を始め、今年で254本の『名勝小金井桜後継樹』が植栽された、早咲き・遅咲きの名勝小金井桜(ヤマザクラ)が百花繚乱のごとく咲く、平右衛門橋から関野橋間のその生育状態を亀山先生の解説を受けながら観桜しました。また、玉川上水堤は、雑草の草刈りが水道局によりなされ、江戸時代の浮世絵師広重も描いた、復活した草ボケやコリン草・ノカンゾウの群生の説明を受けながら充実した観桜会になりました。



説明を受けながら感応する参加者



名勝小金井桜古木と後継樹の競演



満開の小金井桜の中を



平右衛門橋袂に草ボケが群生



ネット植物図鑑から



草ボムの実



ニリン草の群生があちこちの出現



夏 7 月にはノカンゾウやヤブカンゾウが咲きます

観桜会の後、1737 年頃新田開発活性化の為に 8 代将軍吉宗は武蔵野新田開発の立役者である川崎平右衛門に命じ、奈良吉野と茨木桜川のヤマザクラを玉川上水の小金井橋兩岸に植えさせ、全国的に有名な花見の名所となりました。平右衛門の功績を祀る供養塔がある真蔵院を参拝し、住職からお釈迦様の日にちなむ「甘茶」を御馳走になり、又帰り際には全員にお土産として「落雁(らくがん)」を頂き、充実した春の 1 日を満喫していただきました。



平右衛門の功績と供養塔を説明する杉山当会顧問

名勝小金井桜の会・会長小沼記